新島襄研究会企画（案）

2022年1月17日　97年（商）氏家鉄也

幕末から明治にかけての激動期は、今の時代に似ています。

このような時代にあって、目指すもの、もしくは迷いや悩みは、本当に多様で、人それぞれだと思いますが、より幸せに生きるために、道をどう切り開くのか。そのヒントの多くが、新島襄の生き方の中にあるのだと思います。新島襄が残した書籍をたどり、そこに書かれた新島襄からのメッセージを皆さんと語りたいと思います。その対話を通して、会員の皆さまにとって、今必要とする新島襄を発見出来れば幸いです。

□目的：新島襄の著書及び関連書籍等の読書会を通して新島襄への理解と校友相互の交流促進。

□会員予定

発起人：大島　寅夫（1960年・法）、石田　芳弘（1969年・商）

代表世話人：氏家　鉄也（1997年・商）加藤　順平（1993年・文）正木　桂（1995年・法）宮谷　英樹（1996年・院法）伊藤　誠敏（2001年・商）

井上　大輔（2001年・経）榎木　貴之（2004年・法）鈴木　ひな（2015年・神）下澤　台（ 2015年・文情）後呂　真子（2018年・商）

□今後のスケジュール（案）

2022年2月：第１回例会（自己紹介及び今後の方針共有等）

＊毎月もしくは隔月（開催ペースは第１回例会でも議論して決定）

□会場候補：　PEARMS

＊名古屋市東区泉1-23-36 NBN泉ビル（久屋大通駅(出入口1a(名城線) 徒歩1分

□内容：指定テキストについての相互発表

・例会のうち、年１回を講師を招いての講演会形式

・番外編例会として、希望者により、新島襄墓参＋京都ツアー、その他ツアーを予定

□予算について

・１回あたりの勉強会及び懇親会費：５０００円程度/人

・書籍代：１０００円から３０００円程度/人

＊年間の冊数は最大12冊で想定

・講師代：３万円（大学関係者等）程度～未定（著名人等）

・番外編例会旅費：実費

＊校友会からの資金補助については、内容次第で愛知支部事務局と要相談

新島襄がワイルドローバー号に乗ってアメリカにたどり着いたように、
私たちも、どんな場所に辿り着けるのでしょうか。旅の身支度をはじめます。